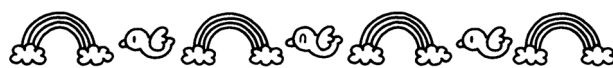


# ひまわり組だより



2021年1月

尚徳福祉会 馬橋保育園

先月は冬のパーティで劇や歌を披露した子どもたち。ドキドキしながらも、みんなの前で表現する喜びを存分に味わいました。異年齢交流も本格的に始まり、憧れのひまわり組さんとしての活躍を楽しんでいる様子です。

今月はコマ回しや羽根つきなどの伝承遊びに挑戦したり、自分たちでカルタやすごろくを作ったりしながら、文字や数字に親しむ機会を増やしていきます。

卒園まで残すところ3か月。子どもたちは就学前健診や学童の面接などを受けて、「小学校に行くの待ちきれない!」と早くも希望を膨らませています。そんな子どもたちと1日1日を大切に、「きょうも楽しかったね」とみんなが感じられる活動を心がけていきたいと思えます。

## 今月のねらい

- 自分の目当てに向かって挑戦し、達成感や充実感を味わう
- 自分の意見を出し友だちの考えにも耳を傾け、協力して遊びを進めていく
- 霜柱や氷に触れ、気づいたことを伝え合ったり、遊びに取り入れたりする

## ひまわり組 今月のお知らせ

- ◆小学生たちとお手紙のやり取りをするといった方法を取りながら、就学までに交流を深めていく予定です。
- ◆幼児3クラスの縦割りグループごとに「お店屋さんごっこ」を行う計画を立てています。



## 「さつまいものクッキング 楽しかったよ!」

芋掘りで収穫したサツマイモを使って、いろいろな料理作りに挑戦しました。

- ★1回目：いきなり団子(担任の出身地でもある熊本の素朴なおやつ)
- ★2回目：サツマイモの炊き込みご飯
- ★3回目：サツマイモのマドレーヌ

お団子を丸める、米とぎをする、ホットケーキミックスや牛乳の入ったボウルを混ぜるといった作業を経験する子どもたち。「あく抜きって何?」ということを知ったり、溶かしバターを見ては「コーンスープみたい!」と感動したりする姿もありました。試食中は「おいしすぎる!」「おかわりある?」の大合唱!!

これからも楽しくてちょっぴりタメになるクッキングを企画していきたいと思えます。

## 「粘土で雪だるま、雪ウサギ、かまくらを作ってみたよ」

段ボールを切り分けて配り、「自分の島を作ってみようか?」と声かけすると、興味津々の子どもたち。貝殻や松ぼっくりをボンドで貼り、ビーズ類で飾り付けをしました。すると単にビーズ類を貼るだけでは飽き足らず、「粘土で雪だるまを作って島に置こうかな?」「いいねえ、私はうさぎにしよう」と、保育者が想像もしなかった工夫をこらし、それが友だち同士で共有化されて、どんどん面白いものが出来上がっていくのです。翌日も「島づくりの続きをしたい」と熱中する、小さなアーティストたちに脱帽でした。

